

季節のおはなし・旅便り

10月号

October

秋空が高く澄み渡り、秋の訪れを感じる季節となりました。

いよいよ秋本番

ちょうどいい気温で過ごしやすく、イベントや自然散策など楽しいことが多い季節です。

行楽をはじめ何をするにも適した気候なので、充実した時間が過ごせるのではないかでしょうか。

コキアやススキ、紅葉など秋の絶景、美味しいグルメや芸術鑑賞など
いろいろな楽しみがいっぱいの秋…今年はどんな秋を過ごしますか？

まずは身近な秋を見つけて近くを散策してみてはいかがでしょう。



神無月

和名は「神無月」です。

10月の和風月名は**神無月**です。10月は全国の神様達が島根にある出雲大社へと集うため、神様が不在の月として神無月となった説があります。反対に、日本全国から神様の集う出雲の国(島根県)では**神在月**と言います。



なぜ出雲大社に神様が集まるの？

出雲大社の御祭神は大国主大神です。この神様は多くの子ども達がいて、その子ども達に日本各地を護らせています。年に一度、子ども達は出雲大社に戻り一年の報告をしていました。そこからやがて他の神様も出雲大社へ集うようになったとされています

京都三大祭り「時代祭」、3年ぶりに行列

時代祭は、葵祭、祇園祭と並ぶ「京都三大祭」のひとつで、**京都平安神宮の大祭**です。

平安神宮の創建と平安遷都 1100 年を奉祝する行事として、1895 年(明治 28)に始まりました。

第1回目は 10 月 25 日に行われ、翌年からは、桓武天皇が 794 年(延暦 13)に

長岡京から平安京に都を移された日を“京都の誕生日”として 10 月 22 日に行われています。

ご鳳輦に乗った**桓武天皇と孝明天皇のご神靈**に、京都市街の安泰と繁栄、進化をご覧になってください、

各時代の行列がご鳳輦のお供をします。行列は明治維新から始まり、次いで江戸、安土桃山、室町、吉野、鎌倉、藤原、延暦と

8 つの時代を 20 の列、牛や馬を含む総勢約 2000 名で構成され、約 2km もの長さで約 3 時間にもなります。

綿密な時代考証を重ねられた衣装、祭具、調度品は 1 万 2000 点にも及び、京の伝統の技をもってそれぞれの時代を

細部まで再現されており、その豪華絢爛な行列はまさに“生きた時代絵巻”です。



神宮のお祭りは、外宮先祭といつて、まず外宮で祭儀が行なわれる習わしがあります。神嘗祭も、内宮に先んじて、外宮で 15 日から 16 日にかけて、新米を始めとするお食事を奉納する由貴大御饌(ゆきのおおみやけ)、天皇陛下が遣わされた勅使が 5 色(青・黄・赤・白・黒)の絹の反物をお供えする奉幣(ほうへい)、御祭神を和めるために御神楽(みかぐら)と呼ばれる儀式がまず行なわれ、16 日～17 日に同様の儀式が内宮で行なわれます。そして 17 日に、天皇陛下が宮中から、伊勢神宮を遙拝されます。神嘗祭の約 1 ヶ月後の 11 月 23 日には、天皇陛下が天神地祇すべての神々に収穫を感謝される「新嘗祭」が行なわれます。

朝晩、過ごしやすい日が多くなってきました。日中はまだ暑い日があっても、夜になると鈴虫の声も聞こえ、すっかり秋の気配です。木々も色づき始め、ここからが秋本番！ご家族で近くの公園にピクニックへ行ったり、デイキャンプをしたり、アウトドア時間が気持ちよく、過ごしやすい季節ですね。「スポーツの秋」「実りの秋」「食欲の秋」「読書の秋」「芸術の秋」…秋は楽しみ方もいろいろ！ そんな今ならではの季節を感じながら、10月も楽しくお過ごしください！

衣替え(10月 1 日)

スポーツの日(10月第二月曜日)

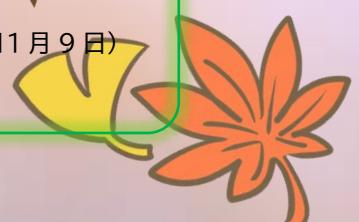
時代まつり(10月 15 日～23 日)

神嘗祭(10月 17 日)

紅葉狩り(10月中旬)

秋の読書週間(10月 27 日～11月 9 日)

ハロウィン(10月 31 日)



神嘗祭は、毎年 10 月 17 日に伊勢神宮で執り行われる**五穀豊穣の感謝祭**にあたります。

(その年の最初に収穫した稲穂「初穂」を天照大御神にお供えし、感謝するお祭りです)

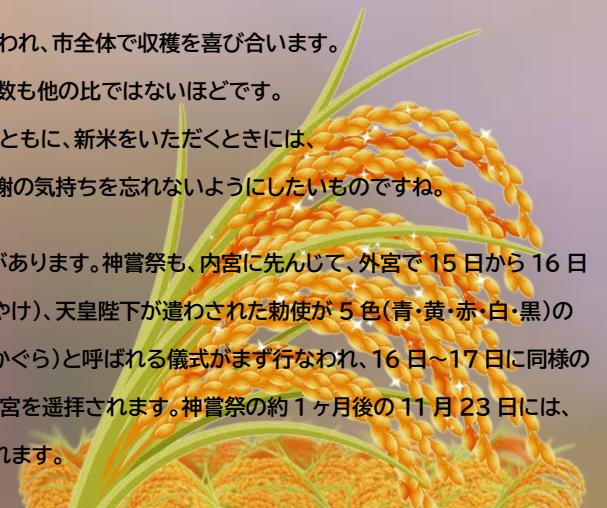
年間 1500 回に及ぶ神宮の恒例のお祭りの中でも、最も重要なお祭りが神嘗祭で 721 年から現在まで続いている。

また、市内では神嘗祭にあわせて祝祭が行なわれ、市全体で収穫を喜び合います。

日本各地のお祭りが集結するため、見物客の数も他の比ではないほどです。

今年も神の恵みに感謝して食事をいただくとともに、新米をいただくときには、

古来より続く伝統行事にも思いを馳せて、感謝の気持ちを忘れないようにしたいのです。



弊社では、安全への取り組みを究めることを目指しております。
社員教育やドライバーの心得として、「安全」こそが最も重要で基本となる
サービスであると考え、お客様に安心してご利用頂けるよう、社員一丸と
なって安全への取り組みを日々行っております。



常に安心・安全を意識し、交通安全週間等の全国行事を
活用しながら、日頃から安全第一という意識を向上
するよう教育しております。教育は年間を通して
計画的・定期的に実施しております。



十五夜お月様…車庫でお月見…

1999年にお台場パレットタウンに開業した大観覧
車は今年8月31日をもって営業を終しました。
開業から23年間…お仕事でも必ずご案内していた
大観覧車…さみしくなります。23年間ありがとうございます！
お疲れ様でした。



先月も自社ツアーに多くのお客様が参加して下さいました

遠足や修学旅行の御依頼も…



平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼を申し上げます。

今後もお客様のご期待に添うべく、より一層、サービスの向上を
目指し、安心・安全・快適な旅を提供してまいります。
今後とも宜しくお願ひ致します。



10月13日はサツマイモの日です

「栗(九里)より(四里)うまい十三里」という江戸時代のことばから制定されたそうです。この十三里とは、さつまいものこと

さつまいもは、日本人との関わりの深いもの類のひとつ。甘みがあり、おかずにもお菓子にも使える、とても便利な存在..そんなさつまいもは、その名前に産地ランキングナンバーワンの県が隠れている。そう、薩摩=鹿児島県が日本一(o^-^o)コさすが~名前の由来になっただけのことはあって、30%以上のシェアを誇る一大生産地..ちなみに 2位茨城県、3位千葉県と続く。

茨城県は、ほしいも生産量・産出額全国第1位

茨城県を代表する特産品「ほしいも」。その全国シェア率はなんと 9割以上を誇ります。明治時代後期に、現在のひたちなか市の地域で始められたといわれる茨城県のほしいもづくりは、原料となるさつまいもの生育に適した土壌や、冬場に雨が少なく海風の吹く気候風土が乾燥の工程に向いていたことなどから、全国へ誇る特産品へと発展してきました。

茨城県のほしいもは、「おみやげにぴったりの特産品」ではなく、茨城県民に日常的に広く食されている「地元愛され食品」です。そのため、サービスエリアからスーパーまで、さまざまな場所で購入することができます。

茨城県にお越しの際には、ぜひお立ち寄りいただき、茨城のほしいもをご賞味ください。

3年ぶりの開催決定・土浦全国花火競技大会 令和4年11月5日(土)

土浦全国花火競技大会は、土浦市を流れる桜川畔で毎年秋に開催される、全国の一流花火職人による芸術的な花火を楽しむことができる大会です。コロナの影響で中止が続いていましたが、いよいよ3年ぶりの開催が決定いたしました。



茨城県内で一番多く栽培されている品種は、濃厚な甘みが特長で、焼いもなどで大人気の「べにはるか」です。また、ホクホクした食感が特長の「ベニアズマ」や、しっとりした食感が特長の「べにまさり」など様々な品種が栽培され、年間を通して出荷されています。

国内の干し芋の9割は茨城県で生産されていると言われていますが、さつまいも自体の生産量は鹿児島市が圧倒的に多いんですね！

47都道府県ご当地ポテトチップでも、茨城県は「さつまいも味」でした！

茨城の焼き芋専門店！「蔵出・焼き芋かいつか」

焼き芋と言えばホクホクしたお芋が当たり前ですが、かいつかさんでは今までにない新しい食感で人気が広がりました。

かすみがうら市にある1975年創業のさつまいも専門店。直営店舗として焼き芋専門店を茨城県内に4店舗運営



あなたはどうっち派!? 「平干し」×「丸干し」



紅天使という品種を使用した焼き芋は、「しっとりねっとりと口の中でとろける」という言葉がぴったりの焼き芋



ほしいも神社(ひたちなか市) 茨城県内でも特にほしいも生産量の多いひたちなか市には、黄金の鳥居が立ち並ぶ神社があります。これこそが、令和元年に創建された話題の新宮「ほしいも神社」です。鳥居の金色はほしいもをイメージした色で、神社のシンボルマークの星形も、「ほしいも」の最初の2文字からとったもの。参拝すれば「ホシイモノ(欲しいもの)はすべて手に入る」という、ご利益があるのだとか。ほしいも好きは一度は行ってみたい、まさにほしいもの聖地です。